

# Webex通話によって拒否されたファックスT.38 ReINVITEの488 SIPエラーを修正

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、登録済みのファックスデバイスが488「Not Acceptable Here」を受信するWebex通話で見られる問題のソリューションについて説明します。

## 前提条件

### 要件

Control Hubでの管理者アクセス。

### 使用するコンポーネント

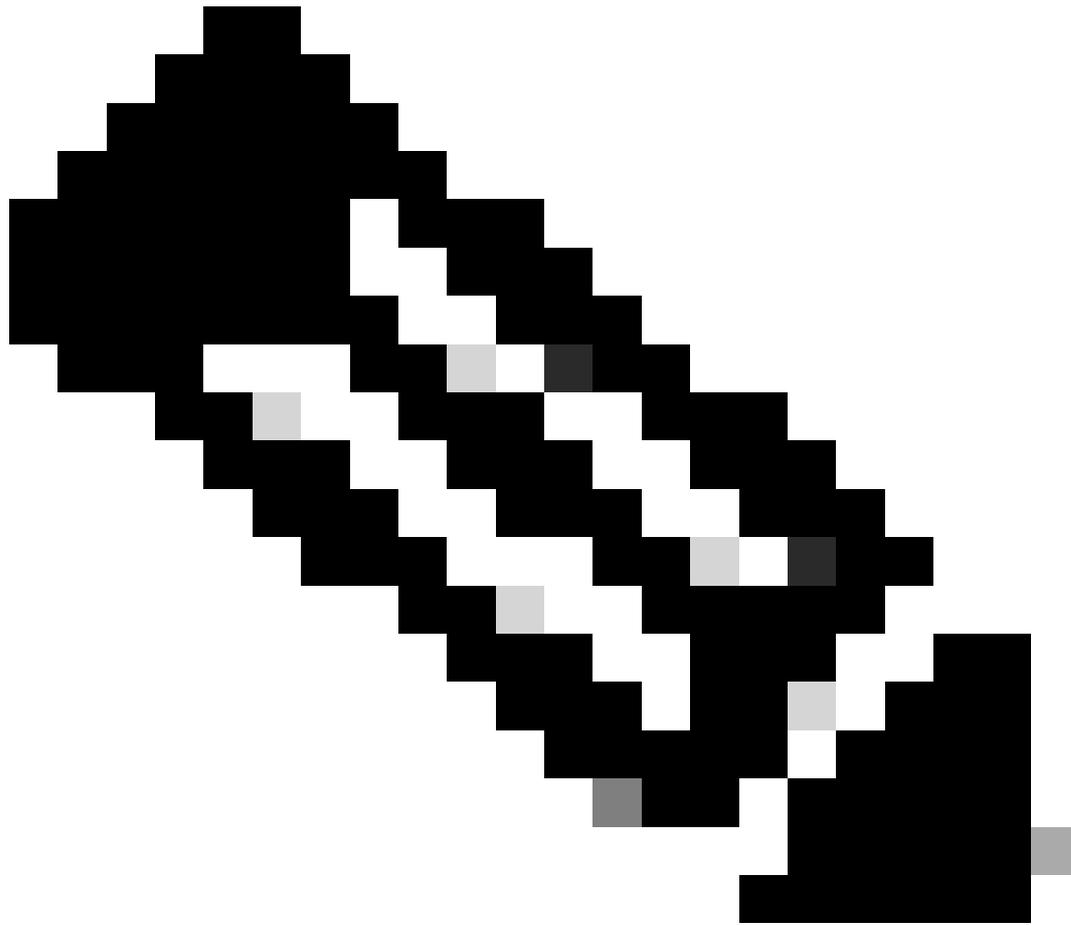
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Webex Calling
- コントロールハブ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

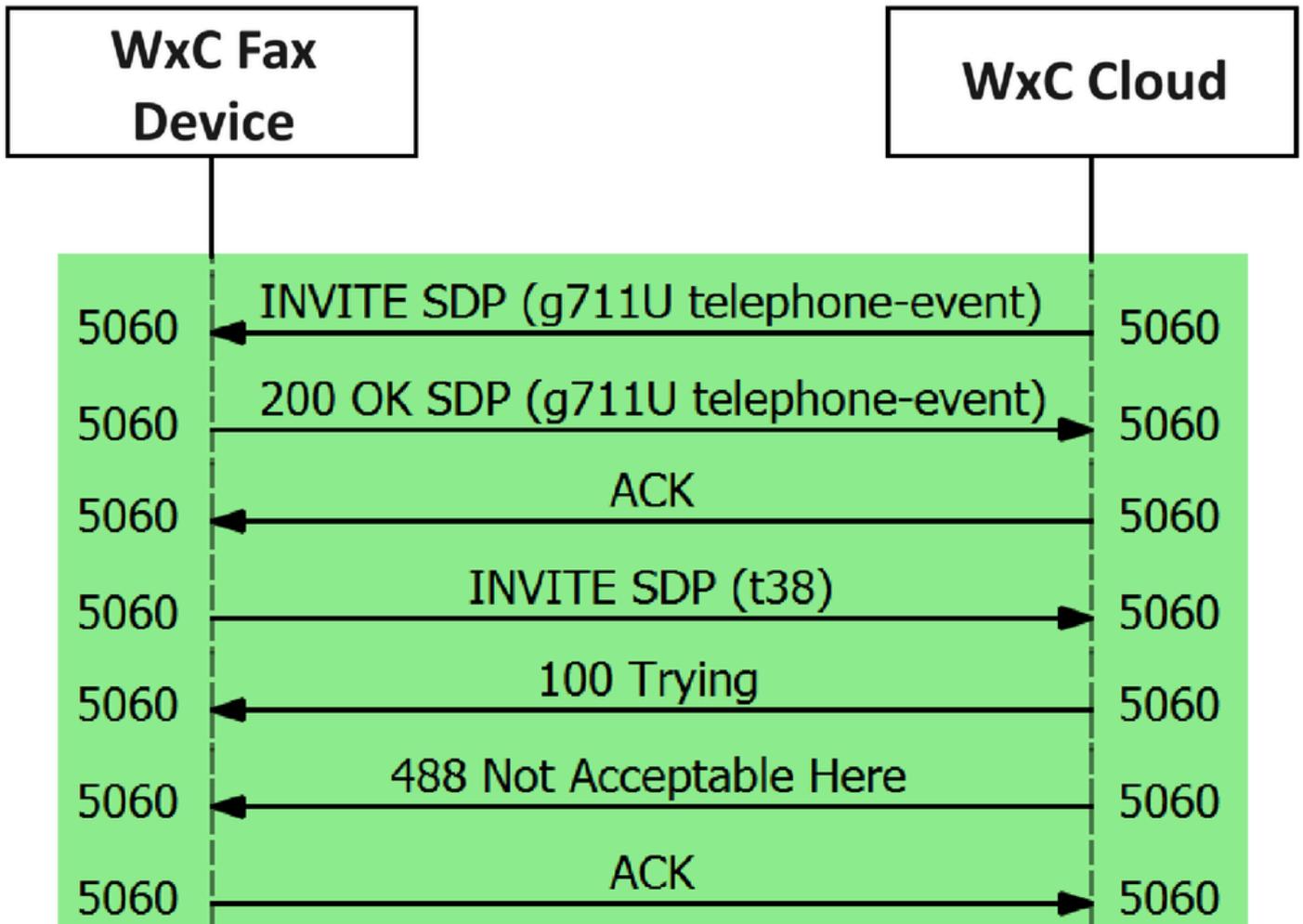
## 問題

ファックスデバイスとWebexクラウド間でT.38プロトコルがネゴシエートされていないため、ファックスコールが機能しません。このシナリオでは、T.38モードをネゴシエートするためのスイッチオーバーのRe-Inviteに対する応答として、Webexコールによって488の「Not Acceptable Here」が生成されます。



注：このドキュメントでは、デバイスのコントロールハブにT.38モードがすでに設定されていることを前提としています。

---



コールメッセージフロー

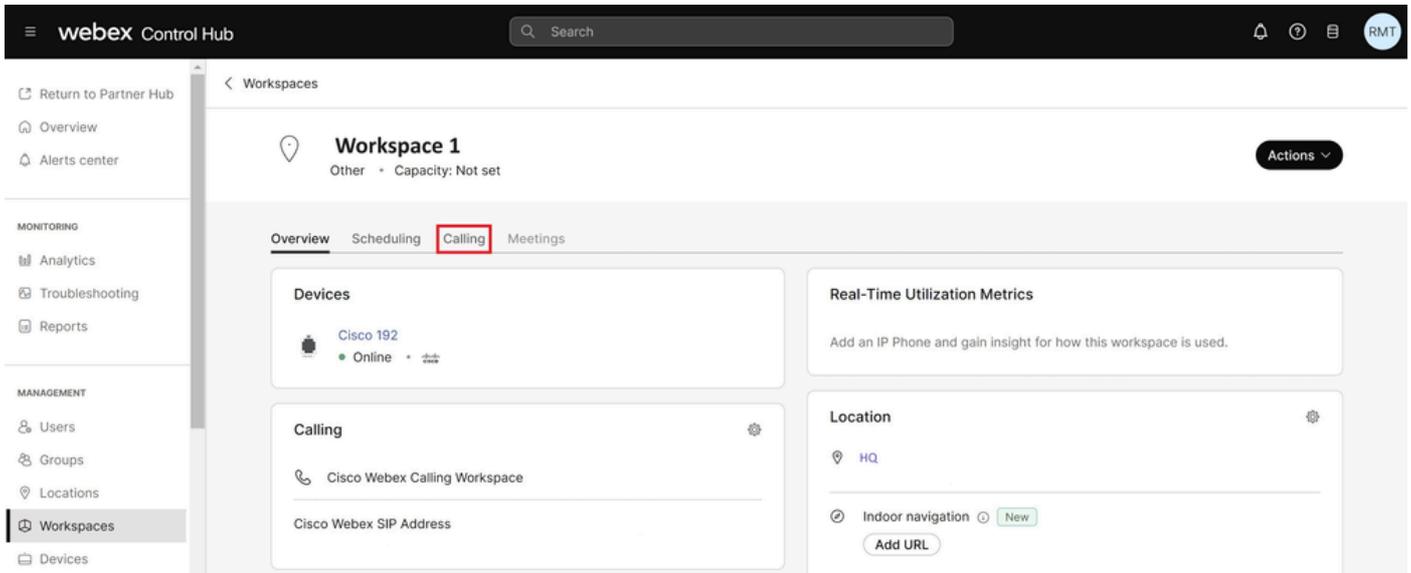
## 解決方法

ステップ 1 : [Control Hub](#)で、Managementに移動します。

ステップ 2 : WorkspaceタブまたはUserタブを選択します。これは、ファクスデバイスを割り当てたオプションによって異なります。

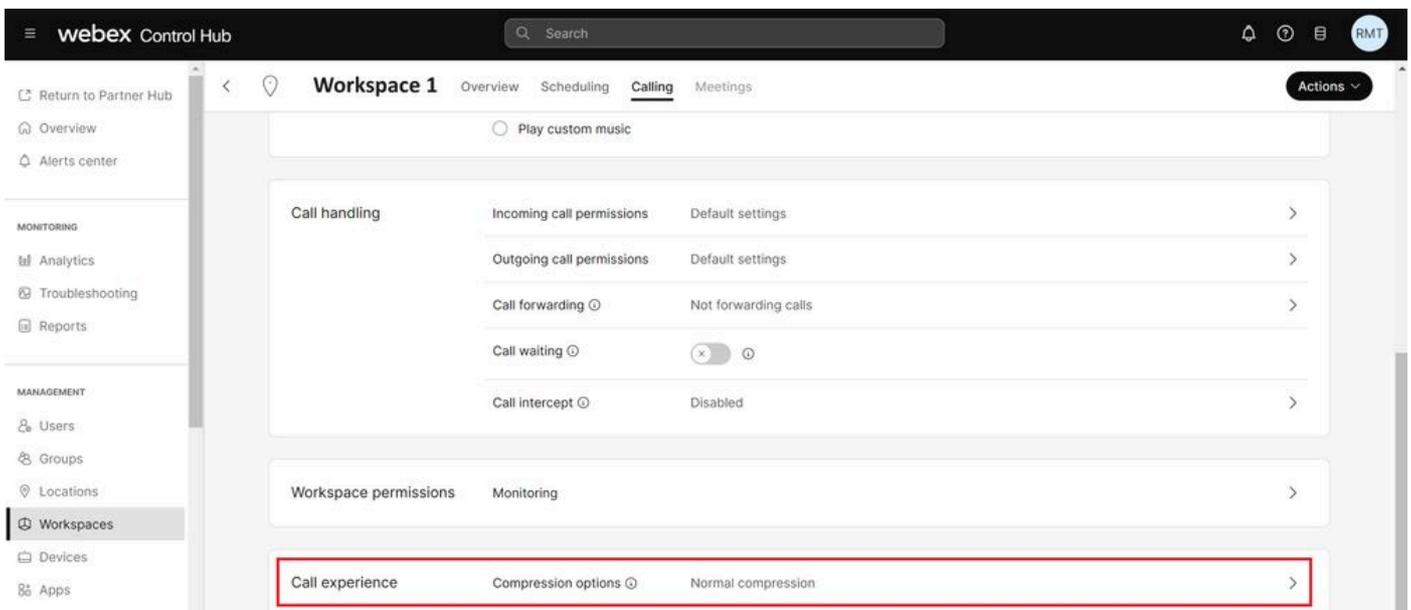
ステップ 3 : FAXデバイスを割り当てたワークスペースまたはユーザを選択します。

ステップ 4 : Callingタブを選択します。



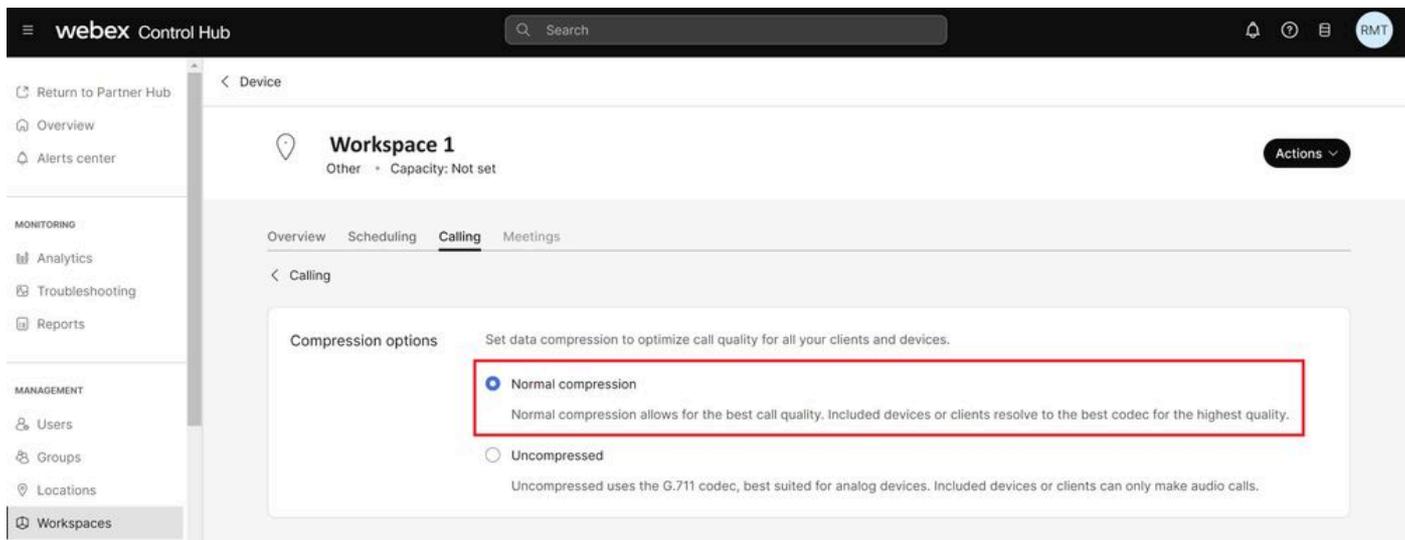
[通話]タブを選択します

ステップ 5 : スクロールダウンして、Call Experienceを選択します。



コールエクスペリエンスオプション

手順 6 : Compression optionsで、Normal compressionを選択します。



通常の圧縮設定

手順 7 : FAXデバイスとFAX装置を再起動して、Webexクラウドに登録されているFAXデバイスの構成ファイルの変更が更新されていることを確認します。

## 関連情報

- [ATAによるファックス転送の改善](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。